

令和元年度 地域包括支援センター事業運営評価シート

資料5-3

（ センターの名称: 松浪地区地域包括支援センター さざなみ ）

国評価 (3/31時点)		市評価 (3/31時点)	
○	×	○	×
48個	7個	9個	1個

地域包括 支援センター 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の介護支援専門員を対象とした勉強会・事例検討会をケアマネ座談会として開催した。近隣クリニックの理学療法士や訪問看護ステーションなど多職種との連携の場を持つことができた。 ・福祉ふれあい祭りの場を利用し介護保険の出前講座を行った。今後も周知の継続をしていきたい。 ・令和元年度は人材育成である地域診断について、独自にアンケートを取るなどした結果を地域ケア会議の場で民生委員と共有、検討した。その結果センターとして令和2年度に向けて「居場所づくり」の提案ができた。
------------------------	---



基幹型包括 ヒアリングの ポイント及び 結果	<p>【ヒアリング実施日】令和2年6月22日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき、着実に事業を実施し、全体として目標を達成できている。 ・市評価の切れ目なく業務を実施するための仕組みについて、引継期間に十分な余裕がないこと、マニュアルの整備がされていないことから評価が×となっているが、必要な職員配置の基準は満たしていて、担当ケースの引き継ぎは適正に行われている。 ・担当地区の介護支援専門員のニーズに基づいて、ケアマネ座談会を開催し、理学療法士や看護師との意見交換の場を設けている。 ・平成30年度に課題となっていた介護支援専門員の円滑な業務遂行を目的とした出前講座等の開催について、令和元年度は福祉ふれあいまつりで介護保険の流れを説明し、制度の周知を行うための紙芝居を実施している。 ・地域ケア会議では、個別課題の解決のための検討を行い、生涯現役応援窓口等との連携を図るなど、自立に向けた支援を積極的に実施している。
---------------------------------	--



推進委員会に、地域包括支援センターの自己評価及び基幹型包括によるヒアリングの結果について、報告し、意見徴収を行う。



茅ヶ崎市 総合評価	
--------------	--

* 市としての総合評価は、推進委員会の意見等を踏まえ、決定する。